

駅の開業で花開く

「王寺村」から「王寺町」へ

王寺町が誕生したのは、今から100年前の大正15（1926）年2月11日のことでした。王寺町になるまでの名前は王寺村です。王寺村が王寺町になる30数年前である明治23（1890）年12月27日に、田んぼばかりだった久度の地域に線路が敷かれ、王寺駅が開業しました。すると、汽車を利用する人が駅に集まり、駅前にお店ができました。やがて駅前に住む人が増え、ついに町になったのです。

きっかけは王寺駅開業

駅中心に人々が集う



王寺駅前商店街

北側駅前広場からの商店街の風景です。商店街のアーチの左右には、「餅政」「米寿軒」という料理旅館がありました。

[昭和30（1955）年頃撮影]



かつての王寺駅

駅にたくさんの線路があるのは今と変わりませんが、駅の南北をつなぐ久度大橋も橋上の駅舎もまだありません。この頃の駅舎は線路北側の久度の地域にあり、駅前広場も北側にしかありませんでした。

[昭和37（1962）年撮影]



田畑広がる王寺駅周辺

今の王寺北義務教育学校のあたりから王寺駅方面を写しています。今は、駅の南側に商業ビルやマンションが建ち並んでいますが、そうした建物はまったくなく、田畑ばかりが広がる風景でした。[昭和10（1935）年撮影]